

HEAD (Higher Education and Admission Design) セミナー  
兼フランス教育学会研究懇話会概要

開催日程：2018年10月12日（金）15:00～18:00

於：大阪大学吹田キャンパス 最先端医療研究棟3階セミナー室1・2

主催：大阪大学高等教育・入試研究開発センター（CHEGA）

共催：フランス教育学会（学会の研究懇話会を兼ねる）

テーマ：「思考力を評価する：フランスの大学入試バカロレア試験の事例から考える（仮）」

開会挨拶：川嶋太津夫センター長

開催趣旨説明（日本の入試改革の動向について）

本日のテーマに関する背景説明：田川千尋

フランス高等教育の概要、大衆化とその課題、2018年入試改革（ParcourSup）について

講演1.：細尾萌子氏（立命館大学准教授）

専門は教育方法学。日仏における高大接続と学力評価、授業方法。

著書『フランスでは学力をどう評価してきたか—教養とコンピテンシーのあいだ—』（ミネルヴァ書房、2017）『現代フランスの教育改革』（共著、明石書店、2018）、『新しい教職課程講座教職教育編⑥教育課程・教育評価』（共編著、ミネルヴァ書房、2018年）

講演内容（予定）：

- ①現在のバカロレア試験の制度（作問と採点の制度）
- ②バカロレア試験で評価されている能力
- ③2020-2021年度から完全実施の新バカロレア試験制度について

講演2.：坂本尚志氏（京都薬科大学准教授）

哲学。専門は20世紀フランス思想史（ミシェル・フーコーと「概念の哲学」）、バカロレア哲学試験の研究および教育方法。

著書『バカロレア幸福論：フランスの高校生に学ぶ哲学的思考のレッスン』（星海社、2018）、『反「大学改革」論』（共著、ナカニシヤ出版、2017）、『主体の論理・概念の倫理 — 二〇世紀フランスのエピステモロジーとスピノザ主義』（共著、以文社、2017）他

講演内容（予定）：

バカロレア入試哲学試験およびこれに向けた指導について

質疑応答

企画・担当：大阪大学高等教育・入試研究開発センター 特任講師 田川千尋